

# 第17回聖路加看護学会学術大会のご案内

大会長 山田 雅子  
(聖路加看護大学看護実践開発研究センター)

「連携の先に見えるもの一つなぐ看護を科学する」と題して学術大会を開催したいと考えています。

少子高齢化の大きな流れの中で、限られた医療資源を有効に活用するため、医療福祉及び居宅等との施設間連携がますます重要となっています。その連携の要として看護師が機能することが期待され、退院調整・退院支援あるいは地域医療連携といった役割を看護として引き受けていくことの意味について診療報酬などの社会的評価もなされるようになってきています。そこで重要となる支援者の視点は、患者は療養の場を移っていくだけではないということを知ることです。人は、病気とともに生きているため、気持ちや価値観や生活そのものの転換こそを支援課題として捉え、その延長線上に療養の場の選択を位置づけているということを理解することが重要です。そのうえで移行期にある患者に対する看護を検討していくことが鍵となります。

こうした観点から、急性期病院、リハビリテーション施設、介護保険施設、居宅等へと療養の場を移っていく患者を支援する看護を一つの技術として捉え、それを科学的な視点で考えることにチャレンジしたいと今回の学術大会を企画しました。

特別講演には、「緩和ケアをつなぐ革新的実践と研究について—大型研究プロジェクト（OPTIM）のリーダーの経験から—（仮）」と題して、聖隷三方原病院の森田達也医師にお願いいたしました。主に連携（実に曖昧な言葉です）をテーマにした臨床研究の手法について語っていただく予定です。シンポジウムでは、「Transition（移行）を支える看護技術の創出（仮）」をテーマに、看護研究者と看護実践家をシンポジストとして迎え、さまざまに移り行く状況にある患者を支援するとは何であるのか、「Transition（移行）ケア」の概念化を中心に議論を深めていきたいと考えています。

9月22日（土）の大会当日は、1日中、「つなぐ看護」の世界に浸り、日本の将来を見据えた新たな看護実践を作り上げていくヒントをつかんでほしいと思います。多くの方々のご参加を心より期待しております。

## 記

会期：2012年9月22日（土）

会場：聖路加看護大学（東京都中央区明石町10-1）

メインテーマ：「連携の先に見えるもの一つなぐ看護を科学する」

プログラム（予定）

### <特別講演>

「緩和ケアをつなぐ革新的実践と研究について—大型研究プロジェクト（OPTIM）のリーダーの経験から—（仮）」  
..... 森田達也（聖隷三方原病院緩和支援診療科 部長）

### <シンポジウム>

「Transition（移行）を支える看護技術の創出」 司会：長江弘子・山田雅子  
Transition Support としての退院支援 ..... 吉田千文（千葉県立保健医療大学）  
退院支援看護の実践 ..... 宮本千恵美（順天堂練馬病院）  
訪問看護から見た退院支援 ..... 三原由美子（シーエルポート杉並）  
外来における Transition を支える看護の実践 ..... 宇都宮宏子（京都大学附属病院）

## 演題募集要項

### <申し込み資格>

1. 演者は共同研究者も含めて、本学会の学会員、または入会手続き中（学会当日までに入会の手続きをお済ませ下さい）である必要があります。
2. 演題は未発表のものに限ります。

### <発表形式>

ポスター発表のみです。座長を設けての進行になります。  
ポスターを掲示するパネルの大きさは、（タテ）210cm ×（ヨコ）90cm です。  
なお、演題については査読を行います。

### <演題申し込み方法>

以下の手順で申し込みをして下さい。

- ①演題申込書と抄録原稿用紙を学会 HP よりダウンロードする。
- ②抄録原稿を作成し、ファイル名を「発表者名・送信日」とする。例）築地ルカ子・20120227
- ③第17回聖路加看護学会学術大会事務局へメールを送る。  
送付先：slnr17@slcn.ac.jp  
件 名：第17回聖路加看護学会抄録原稿申込  
本 文：「演題名」「筆頭演者（所属）」  
添付ファイル：「演題申込書」「抄録原稿」
- ④演題締切：5 月末日

## 学会参加申込

学術大会への参加をご希望の方は、郵便振替で参加費の払い込みをお願いします。払込用紙はお一人様一枚とし、①住所、②氏名、③所属、④会員番号（会員のみの）、⑤大学院名（大学院生のみの）を記入して下さい。

<参加費>	学 会 員	¥5,000	（当日参加	¥6,000）
	非学会員	¥6,000	（当日参加	¥7,000）
	大学院生	¥3,000	（当日参加	¥3,000）
* 事前申し込みは2012年 9 月 5 日（水）まで受け付けます。				

### <振込先>

口座番号 00190-6-306784  
フリガナ ダイ17カイセイルカカンゴガツカイガクジュツタイカイ  
加入者名 第17回聖路加看護学会学術大会

\* 聖路加看護学会の入会費と年会費の振込先は異なります。

入会手続き、会員番号照会は、聖路加看護学会事務局 slnr@slcn.ac.jp へお問い合わせください。

### <領収書>

郵便振込票をもって領収書にかえさせていただきます。

### <その他>

プログラムは事前に送付します。講演集と参加証は当日お渡しします。

お問い合わせ：第17回聖路加看護学会学術大会事務局 slnr17@slcn.ac.jp

## 聖路加看護学会学術大会

回	日程	テーマ	開催地	学術大会長
1	1996年9月15日（土）	建学の精神の具現化と軌跡	聖路加看護大学 東京	常葉 恵子 聖路加看護大学
2	1997年9月27日（土）	実践重視の看護の創造	聖路加看護大学 東京	飯田澄美子 聖路加看護大学
3	1998年10月3日（土）	実践の質を高める看護教育を求めて	聖路加看護大学 東京	藤枝 知子 東京女子医科大学
4	1999年9月25日（土）	ユニフィケーションの方向性を探って	聖路加看護大学 東京	小松美穂子 茨城県立医療大学
5	2000年10月7日（土）	在宅看護の源流と未来	大阪府看護協会 ナーシングアート大阪 大阪	氏家 幸子 大阪大学
6	2001年9月29日（土）	「からだ」のわかる看護の探究	聖路加看護大学 東京	菱沼 典子 聖路加看護大学
7	2002年9月28日（土）	看護と文学	聖路加看護大学 東京	井部 俊子 聖路加国際病院
8	2003年9月27日（土）	看護の“知”と哲学的基盤	聖路加看護大学 東京	中山 洋子 福島県立医科大学
9	2004年9月25日（土）	実践の“智”を築く	聖路加看護大学 東京	平野かよ子 国立保健医療科学院
10	2005年9月24日（土）	生涯発達と看護	聖路加看護大学 東京	小澤 道子 聖路加看護大学
11	2006年9月23日（土）	病気や障害のある生活と看護	聖路加看護大学 東京	木下 幸代 聖隷クリストファー大学
12	2007年9月22日（土）	少子高齢社会を生きる力、 支える力	聖路加看護大学 東京	太田喜久子 慶應義塾大学
13	2008年9月27日（土）	死生観を育む	聖路加看護大学 東京	杉本 正子 東邦大学
14	2009年9月26日（土）	ファーストクラスをめざす道 —ケアの未来を拓く—	聖路加看護大学 東京	堀内 成子 聖路加看護大学
15	2010年9月25日（土）	開こう看護の技術箱 —臨床看護実践への貢献—	聖路加看護大学 東京	佐藤エキ子 聖路加国際病院
16	2011年9月24日（土）	看護の可能性を拓く —看護実践の高度化と役割拡大の中で—	聖路加看護大学 東京	田代 順子 聖路加看護大学